

令和6年度 滝野東小学校 学校経営方針

1 学校教育目標

加東の教育

「人間力の育成」 ～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

小中一貫教育基本方針

「ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもの育成」

滝野地域小中一貫教育目標

ともに学び、たくましく、夢に挑む子どもの育成

滝野東小学校 学校教育目標

こころ豊かに たくましく生きる 滝っ子の育成

2 教育目標の具体像

(1) めざす子どもの姿

- 主体的に考え、仲間とともに学び、挑む子ども
- 自他を大切にし、仲間とともに助け合い伸びる子ども
- 心身ともにたくましく、仲間とともに最後までやり抜く子ども

(2) めざす学校の姿

- 子どもの笑顔と活気があふれる学校
- 教職員が誇りと使命感をもって働く学校
- 保護者・地域から信頼され、ともに歩む学校

(3) めざす教師の姿

- 教育に対する情熱をもち、子どもとともに学び続ける教師
- 互いに認め、支え合い、粘り強くチームで協働する教師
- 誠実・感謝・共生を自らの姿と行動で示す教師

[成長のキーワード]

- 《い ど む》 目標をもち、積極的にチャレンジする。
- 《つ な が る》 つながり大切に、自分を成長させる。
- 《きりひらく》 目標に向かってねばり強く努力し、自らの力で道を切り拓く。

[自立・自律につながる6つの心]

- ・「おはようございます」という <<明るい心>>
- ・「はい」という <<素直な心>>
- ・「すみません」という <<反省の心>>
- ・「わたしがします」という <<積極的な心>>

- ・「ありがとうございます」という 《感謝の心》
- ・「いっしょにやろう」という 《つながる心》

3 学校経営の重点【つなぐ】

《まなび》

- (1) 子どもが学ぶ楽しさを味わい、考えを仲間とともに伝え合う授業を行う。
 - ・子どもが教材のおもしろさに気づき、解決に向けて意欲的に考え、仲間とともに伝え合う授業を実施する。
 - ・研修等の充実により、教職員の資質向上を図る。(ICT 機器の活用、授業力向上)
 - ・読書活動の充実を図る。
- (2) 小中学校間（滝野地域）の学びのつながりをめざす。
 - ・小小間、小中間で児童生徒交流、教職員交流を計画的に行う。(出前授業を推進する。育てたい力や学びの姿の共有を図る。共通理解事項の検討を行う。)
- (3) 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育を推進する。
 - ・個別の指導計画に基づき、共通理解を図り、きめ細かく適切な支援を行う。
 - ・交流学級や他校児童生徒との交流及び共同学習の充実を図る。

《こころ》

- (1) 子ども同士が心通い合う集団づくりをめざして、積極的な生活指導を推進する。
 - ・子ども一人一人に寄り添い、魅力ある学級・学年・学校づくりに努める。(不登校支援、いじめ防止)
 - ・特別活動の充実（異年齢交流等）により、子ども同士の豊かな人間関係づくりに努める。
 - ・ネットトラブル等の人権課題を克服するため、「加東市ネット利用ルール」の遵守をめざす。
- (2) 命と人権を大切にした学習を大切に、互いを高め合う心を育てる。
 - ・違いを認め合い、ともに生きようとする意欲や態度を育てる。
 - ・達成感や自己有用感を育てる。
 - ・授業参観の機会に「考え、議論する」道徳の授業を公開する。

《からだ》

- (1) 健康的な心身を育て、安全に対する意識を高める。
 - ・新体力テストの分析結果に基づく体力づくりを通して、体力と運動能力の向上に努める。
 - ・家庭と連携した望ましい生活習慣の確立を目指す。
 - ・危機管理、安全管理機能を高める（子どもを守る体制の充実）
- (2) 教職員が心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを進める。
 - ・毎週1回の「定時退勤日」の完全実施や会議の精選等により、ゆとりをもって子どもと向きあう。

《ふるさと》

- (1) 学校⇄家庭⇄地域が一体となった豊かな教育環境づくりを推進する。
 - ・ふるさと学習「かとう学」副読本の有効活用を図る。
 - ・生活科・総合的な学習の時間カリキュラムの活用を推進する。
 - ・地域人材や教育資源を活用した体験学習を推進する。
 - ・地域への情報発信（学校だより、ホームページ、学校オープン）を行う。